

第2回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

日時：平成23年10月6日（木） 午後3時～5時半
場所：市民・協働ステーション（地域情報センター2階）
大会議室

(1) 江南市地域まちづくり補助事業について

・平成24年度事業募集要領について

○「実現性」を大切に、事業の「展開性」を考慮に入れて、『展開コース』の審査項目とその配点を『連携コース』とは別につくる。

※ 『展開コース』の目的の一つに「団体育成」があり、先駆性や資金的自立よりも事業の実現性に重きをおいた審査を行う必要がある。

※ 過去の申請状況をみていると、現在の江南市にはまちづくりを「育てる」「拾いあげる」必要があると感じる。

※ 実現性はもちろん最重要だが、単年度事業にならないように事業の展開性を審査する必要がある。

※ 審査項目にリンクした申請書を作成する必要がある。

・平成24年度事業申請書、報告書の様式について

○申請書を審査項目にリンクさせる。また、過去審査員、実施団体の声を反映させ、より申請者が利用しやすく、目的に沿った事業の申請が可能な様式にする。

※ 『展開コース』は複数年事業の申請が容易な様式に、『連携コース』は「連携」の利点が記載できる項目を設けた様式にそれぞれ変更する。

※ 「将来の展望」について、資金面ばかりでなく事業全般の将来展望も記載できるように項目を設ける。

○報告書を「今度の取組み、協力依頼」に重要視した様式にする。

(2) 絆づくりこうなん実行委員会について

・委員の公募を行った結果、10人の応募があった。NPO・ボランティア団体のネットワークづくりのためにどのような企画を行うのがよいか、現在企画案を検討中である。

(3) その他

・議題(2)の「絆づくりこうなん実行委員会」では、「NPOのネットワークづくりは地域コーディネーターや中間支援組織が行うべきだ」との意見が出ている。江南市に中間支援組織が必要な時期であると思う。「市民協働の推進」について考える当協議会でも江南

市の「中間支援組織」のあり方について議論していきたい。

- ※ 補助金の広報方法について、現状は登録団体への DM や広報紙への掲載などはあるが、横の広がりがない。仲間への広がりがない。その部分をつくる意義からも中間支援組織の担う役割は大きい。
- ※ 社会福祉協議会のボランティアセンターが、福祉分野のコーディネートの役割を果たしている。社会福祉協議会としても何らかの形でかかわっていきたい。